

正負の数

1	正負の数の意味(1)	4
1	正の数・負の数	
2	数直線	
3	絶対値	
4	数の大小	
2	正負の数の意味(2)	8
1	正の数をたすこと, 正の数をひくこと	
2	負の数をたすこと, 負の数をひくこと	
3	正負の数の加法	
4	正負の数の減法	
3	正負の数の加減	12
1	加法の計算法則	
2	かっこのつかない計算	
3	3数以上の加減 I	
4	3数以上の加減 II	
4	正負の数の乗除	16
1	正負の数の乗法	
2	正負の数の除法	
3	3数以上の乗法	
4	乗除混合計算	
5	正負の数の四則計算, 素数の積	20
1	四則計算	
2	累乗のある計算, 分配法則	
3	四則計算の利用, 数の集合と四則計算	
4	素因数分解	
6	正負の数のまとめ	24
1	正負の数の意味	
2	正負の数の加減, 乗除	
3	正負の数の四則計算	
4	素因数分解	

文字式

7	文字式の表し方	28
1	文字を使った式の表し方 I	
2	文字を使った式の表し方 II	
3	数量の表し方 I	
4	数量の表し方 II	
8	文字式の計算(1)	32
1	式の値・項と係数	
2	項のまとめ方	
3	式と式の和	
4	式と式の差	
9	文字式の計算(2)	36
1	文字式×数, 文字式÷数	
2	分配法則	
3	文字式の四則計算	
4	分数を含む文字式の計算	

10	関係を表す式	40
1	等式	
2	不等式による表現 I	
3	不等式による表現 II	
4	円に関する公式	

11	文字式のまとめ	44
1	文字式の表し方	
2	文字式の計算(1)	
3	文字式の計算(2)	
4	関係を表す式	

方程式

12	方程式の解法	48
1	方程式の解法 I	
2	方程式の解法 II	
3	方程式の解法 III	
4	比例式	

13	方程式の利用(1)	52
1	解から文字 a の値を求める問題	
2	整数に関する問題	
3	代金に関する問題	
4	分配の問題	

14	方程式の利用(2)	56
1	平均に関する問題	
2	過不足に関する問題	
3	規則性に関する問題 I	
4	規則性に関する問題 II	

15	方程式の利用(3)	60
1	速さに関する問題 I	
2	速さに関する問題 II	
3	割合に関する問題	
4	濃度に関する問題	

16	方程式のまとめ	64
1	方程式の解法 I	
2	方程式の解法 II	
3	方程式の利用 I	
4	方程式の利用 II	

比例・反比例

17	比例	68
1	関数の意味	
2	比例	
3	変域	
4	比例の式の求め方	

18	比例とグラフ	72
1	座標の表し方	
2	比例のグラフ	
3	比例のグラフを読み取る	
4	比例のグラフの利用	

19 反比例とグラフ 76

- 1 反比例
- 2 反比例の式の求め方
- 3 反比例のグラフ
- 4 反比例の利用

20 比例・反比例のまとめ 80

- 1 比例
- 2 比例とグラフ
- 3 反比例
- 4 反比例とグラフ

平面図形

21 平面図形の性質 84

- 1 直線・角
- 2 垂直と平行
- 3 円とおうぎ形, 接線や弦の性質
- 4 おうぎ形の弧の長さとの面積

22 作図 88

- 1 垂直二等分線
- 2 角の二等分線
- 3 垂線
- 4 いろいろな作図

23 図形の移動 92

- 1 平行移動
- 2 対称移動
- 3 回転移動
- 4 移動の組み合わせ

24 平面図形のまとめ 96

- 1 平面図形の性質
- 2 円, おうぎ形
- 3 作図
- 4 図形の移動

空間図形

25 いろいろな立体とその見方 100

- 1 角柱と円柱
- 2 角錐と円錐
- 3 正多面体
- 4 投影図

26 空間の位置 104

- 1 平面・直線の位置関係
- 2 平面どうしの位置関係
- 3 線や面の移動
- 4 回転体

27 体積・表面積 108

- 1 立体の表面積
- 2 立体の体積
- 3 回転体の体積・表面積
- 4 球の表面積・体積

28 空間図形のまとめ 112

- 1 正多面体, 投影図
- 2 平面・直線の位置関係
- 3 立体の表面積・体積
- 4 回転体や球の表面積・体積

資料の活用

29 資料の活用 116

- 1 度数分布, 代表値
- 2 相対度数
- 3 累積度数, 累積相対度数
- 4 確率の意味

1年の復習

30 正負の数 120

- 1 正負の数の意味
- 2 正負の数の加減, 乗除
- 3 正負の数の四則計算
- 4 素因数分解

31 文字式 124

- 1 文字式の表し方
- 2 文字式の計算(1)
- 3 文字式の計算(2)
- 4 関係を表す式

32 方程式 128

- 1 方程式の解法 I
- 2 方程式の解法 II
- 3 方程式の利用 I
- 4 方程式の利用 II

33 比例・反比例 132

- 1 比例
- 2 比例とグラフ
- 3 反比例
- 4 反比例とグラフ

34 図形 136

- 1 作図
- 2 図形の移動
- 3 平面・直線の位置関係, 投影図
- 4 立体の表面積・体積

35 資料の活用 140

- 1 度数分布, 代表値
- 2 相対度数
- 3 累積度数, 累積相対度数
- 4 確率の意味

1 正負の数の意味(1)

★ 要点のまとめ

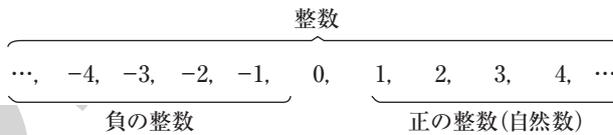
1 正の数・負の数

- 正の数……0より大きい数を正の数といい、正の符号「+」(プラス)をつけて表します。
- 負の数……0より小さい数を負の数といい、負の符号「-」(マイナス)をつけて表します。

例 ① 0より3大きい数 → +3(プラス3)

② 0より2小さい数 → -2(マイナス2)

- 整数……整数には、負の整数、0、正の整数があります。正の整数を自然数ともいいます。



- 正の数・負の数の利用

① たがいに反対の性質をもつ量は、一方を正の数で、もう一方を負の数で表すことがあります。

例 100円の利益を+100円と表すと、200円の損失は-200円と表されます。

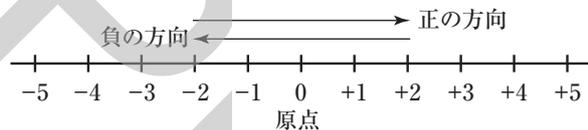
② ある基準を決めて、それからの増減や過不足などを正負の数で表すこともあります。

例 テストの合格点80点を基準にすると、次のように表せます。

90点…+10点 75点…-5点

2 数直線

- 数直線で、0に対応する点を原点といい、右の方向を正の方向、左の方向を負の方向といいます。

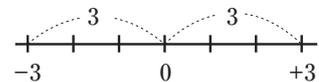


3 絶対値

- 絶対値……数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を絶対値といいます。

例 ① +3の絶対値 → 3

② -3の絶対値 → 3



4 数の大小

- 数の大小関係を表す記号<, >を不等号といいます。
- 数の大小……① 正の数は0より大きく、絶対値が大きいほど大きいです。
② 負の数は0より小さく、絶対値が大きいほど小さいです。

例 $-5 < -3 < -1 < 0 < +1 < +3 < +5$

1 正の数・負の数

学習日 月 日

次の問いに答えなさい。

□(1) 次の数を正負の符号をつけて表しなさい。

□① 0より6小さい数
✍️ 1

□② 0より13大きい数
✍️ 1

□③ 0より4.2小さい数
✍️ 1

□④ 0より0.57大きい数
✍️ 1

□⑤ 0より $\frac{2}{3}$ 小さい数
✍️ 1

□⑥ 0より $\frac{4}{5}$ 大きい数
✍️ 1

□(2) []内のことばを使って、次のことを表しなさい。

□① -2大きい [小さい]
✍️ 1

□② -5増える [減る]
✍️ 1

□③ -0.4℃高い [低い]
✍️ 1

□④ 3小さい [大きい]
✍️ 1

□⑤ 8個少ない [多い]
✍️ 1

□⑥ -10小さい [大きい]
✍️ 1

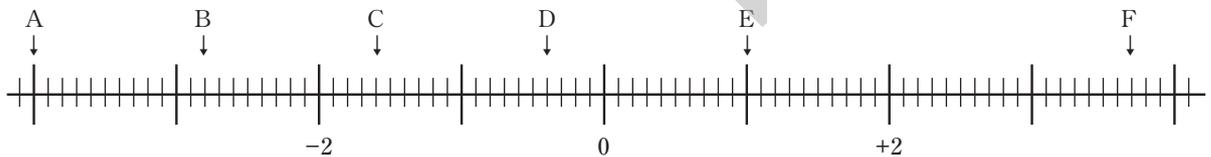
2 数直線

学習日 月 日

次の問いに答えなさい。

□(1) 次の数直線上の点A～Fに対応する数を答えなさい。

✍️ 5



A B C D E F

□(2) 次の数に対応する点を、下の数直線上に↓で示しなさい。

□① -1
✍️ 2

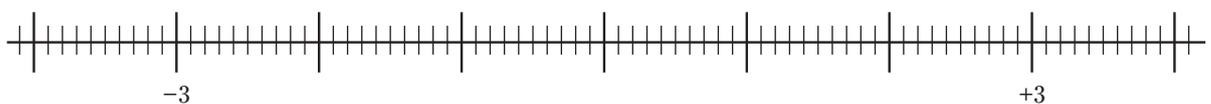
□② 0
✍️ 2

□③ +1.5
✍️ 3

□④ -3.3
✍️ 3

□⑤ $+\frac{1}{2}$
✍️ 3

□⑥ $-\frac{8}{5}$
✍️ 3

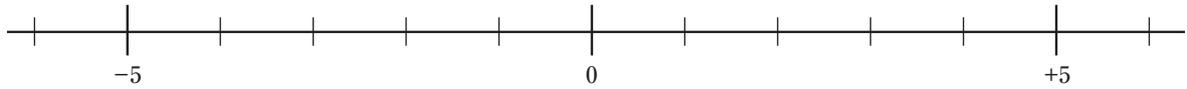


3 絶対値

学習日 月 日

次の問いに答えなさい。

- (1) 次の数直線で、 -2 に対応する点をA、 $+3$ に対応する点をBとするとき、あとの問いに答えなさい。



- ① それぞれ数直線上に示しなさい。

✎ 1

- ② 点Aと0との距離を答えなさい。

✎ 3

- ③ 0からの距離が3である点は、点B以外にもう1つある。その点に対応する数を答えなさい。

✎ 3

- ④ 点Aと点Bとの距離を答えなさい。

✎ 3

- (2) 次の数の絶対値を答えなさい。

- ① $+5$

✎ 2

- ② -0.7

✎ 2

- ③ $\frac{1}{2}$

✎ 2

4 数の大小

学習日 月 日

次の問いに答えなさい。

- (1) 次の空欄にあてはまる不等号を答えなさい。

- ① $-16() + 5$

✎ 1

- ② $-7() - 10$

✎ 2

- ③ $+5.6() - 1.1$

✎ 1

- ④ $-27() - 2.6$

✎ 2

- ⑤ $+\frac{1}{5}() - 4$

✎ 1

- ⑥ $-3() - \frac{10}{3}$

✎ 2

- (2) 次の各組の数を小さい順に並べなさい。

- ① $0, -1, +2, -3, +4$

✎ 4

- ② $+0.07, -0.7, +7, -7.7$

✎ 4

- (3) -1 より大きい数のうち、最も小さい整数を答えなさい。

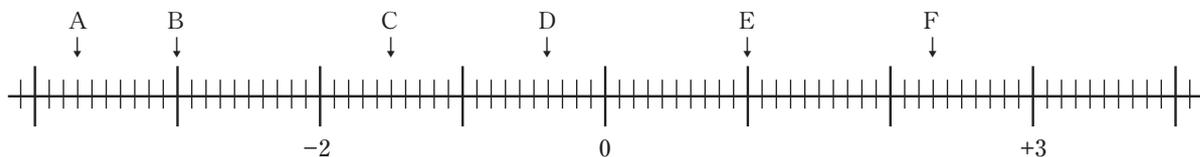
✎ 5

1 次の問いに答えなさい。

【(1)3点×6, (2)4点×2】

(1) 次の数直線上の点A～Fに対応する数を答えなさい。

5



A _____ B _____ C _____ D _____ E _____ F _____

(2) [] 内のことばを使って、次のことを表しなさい。

① 1.6cm 短い [長い]

1

② -15円安い [高い]

1

2 次の問いに答えなさい。

【(1)(2)3点×4, 他4点×3】

(1) 次の数の絶対値を答えなさい。

① -4

2

② 0

2

③ -3.8

2

(2) 絶対値が4である数を、2つ答えなさい。

4

(3) 次の数を小さい順に並べなさい。

5

-0.02, $-\frac{1}{2}$, -0.2, -2

(4) -6より小さい数のうち、最も大きい整数を答えなさい。

5

(5) -3より大きく1より小さい整数をすべて答えなさい。

5

2 正負の数の意味(2)

★ 要点のまとめ

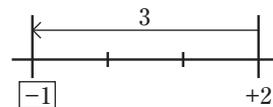
1 正の数をたすこと、正の数をひくこと

- 正の数をたす計算……正の数をたすことは、たす数だけ大きい数を求めることなので、数直線上で、たす数の絶対値だけ右へ移動した点に対応する数を求めます。
- 正の数をひく計算……正の数をひくことは、ひく数だけ小さい数を求めることなので、数直線上で、ひく数の絶対値だけ左へ移動した点に対応する数を求めます。

例 ① $(+2) + (+3) = +5$



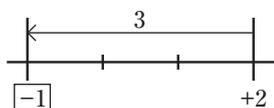
② $(+2) - (+3) = -1$



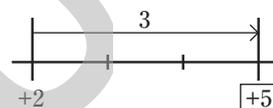
2 負の数をたすこと、負の数をひくこと

- 負の数をたす計算……「負の数をたす」ことは「正の数をひく」ことと同じなので、数直線上で、たす数の絶対値だけ左へ移動した点に対応する数を求めます。
- 負の数をひく計算……「負の数をひく」ことは「正の数をたす」ことと同じなので、数直線上で、ひく数の絶対値だけ右へ移動した点に対応する数を求めます。

例 ① $(+2) + (-3) = -1$



② $(+2) - (-3) = +5$



3 正負の数の加法

- 正負の数の加法
- ① 同符号どうしの加法……絶対値の和に、共通の符号をつける。
 - ② 異符号どうしの加法……絶対値の差に、絶対値の大きい方の符号をつける。

例 ① $(-2) + (-3) = -(2+3)$
 $= -5$

② $(+2) + (-3) = -(3-2)$
 $= -1$

4 正負の数の減法

- 正の数、負の数をひくことは、符号を変えてたすことなので、減法はすべて加法に直して計算できます。

例 ① $(-2) - (+3) = (-2) + (-3)$
 $= -(2+3)$
 $= -5$

② $(+2) - (-3) = (+2) + (+3)$
 $= +(2+3)$
 $= +5$

- 加法の式の表し方……加法の式では、かっこと「たす」ことを表す「+」を省いて書くことがあります。

1 正の数をたすこと、正の数をひくこと

学習日 月 日

数直線を使って、次の計算をしなさい。

(1) $(+4) + (+4)$



(2) $(+6) + (+5)$



(3) $0 + (+2)$



(4) $(-4) + (+1)$



(5) $(-5) + (+6)$



(6) $0 + (+3)$



(7) $(+9) - (+7)$



(8) $(+2) - (+2)$



(9) $(+1) - (+4)$



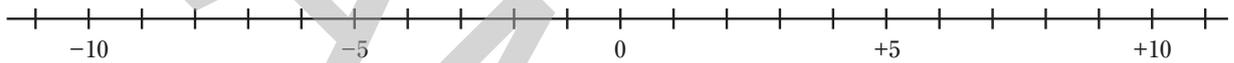
(10) $(-5) - (+3)$



(11) $(-5) - (+5)$



(12) $(-4) - (+7)$



2 負の数をたすこと、負の数をひくこと

学習日 月 日

数直線を使って、次の計算をしなさい。

(1) $(+9) + (-6)$



(2) $(+4) + (-8)$



(3) $(+3) + (-5)$



(4) $(-6) + (-2)$



(5) $(-1) + (-6)$



(6) $(-4) + (-1)$



(7) $(+4) - (-1)$



(8) $(+5) - (-6)$



(9) $(+3) - (-3)$



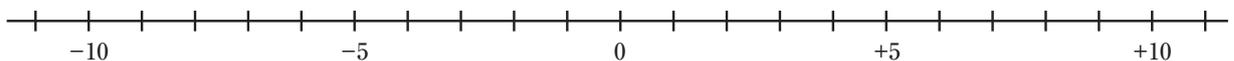
(10) $(-5) - (-4)$



(11) $(-7) - (-9)$



(12) $(-2) - (-6)$



3 正負の数の加法

学習日 月 日

次の計算をなさい。

(1) $(+2) + (+10)$



(2) $(+8) + (+13)$



(3) $(+5) + (+20)$



(4) $(-14) + (-8)$



(5) $(-15) + (-9)$



(6) $(-26) + (-7)$



(7) $(+18) + (-21)$



(8) $(+12) + (-11)$



(9) $(+16) + (-25)$



(10) $(-6) + (+4)$



(11) $(-10) + (+10)$



(12) $(-5) + (+9)$



4 正負の数の減法

学習日 月 日

次の計算をなさい。

(1) $(+1) - (+3)$



(2) $(+3) - (+9)$



(3) $(+6) - (+5)$



(4) $(+4) - (-7)$



(5) $(+2) - (-5)$



(6) $(+1) - (-8)$



(7) $(-2) - (+13)$



(8) $(-11) - (+9)$



(9) $(-15) - (+22)$



(10) $(-5) - (-2)$



(11) $(-6) - (-7)$



(12) $(-2) - (-5)$



(13) $-4 + 7$



(14) $-2 - 5$



(15) $-6 + 4$



1 次の計算をなさい。

[3点×10]

(1) $(+1) + (+7)$

1

(2) $(-3) + (-5)$

1

(3) $(-6) + (-4)$

1

(4) $(-7) + (+8)$

1

(5) $(-13) + (+6)$

1

(6) $(+8) - (+6)$

1

(7) $(-7) - (-7)$

1

(8) $(-4) - (+9)$

1

(9) $(-10) - (-3)$

1

(10) $0 - (-9)$

1

2 次の計算をなさい。

[4点×5]

(1) $2 - 5$

1

(2) $-1 - 8$

1

(3) $-15 + 22$

1

(4) $(+2.3) - (+1.9)$

2

(5) $(+\frac{5}{6}) - (-\frac{2}{3})$

2